

(別表第1の4)

目標達成計画

事業所 グループホーム春のうらら

作成日: 平成 23 年 6 月 14 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	33	医療連携について、職員間又は看護師との意識の統一が万全でない。伝達方法も申し送りノートや口頭で、指示が明確でない。	全員の意識の統一を図る。	看護師を中心とした医療連携をどのような形で取り組んで行くか具体的なマニュアルを作成する。方向性を統一する為の話し合いを職員全員と看護師で行う。	10 か月	看護師ノートのコピーを申し送りノートに貼り、各自で把握しサインを入れるようにしました。出来るだけ往診日に関して頂くように話し合いを行いました。マニュアルは、今までと同じが分かり易いようです。
2	34	急変や事故発生時の訓練を行っているが不安がある。	定期的な訓練を重ね、急変時すべての職員が落ち着いて対応できるようにする。	定期的に心肺蘇生法などの勉強会を行い全員が習得する。看護師による急変時の対応の勉強会を行う。	6 か月	平成23年5月15日防火訓練後消防署による心肺蘇生法を新人職員や中堅職員も再度訓練を実施し習得しました。5月20日に看護師による勉強会を実施。再度確認しました。
3	4	運営推進会議で公民館長様が公民館の行事活動のお知らせをして下さいますが2階の為参加できていない。	定期的に行事に参加して地域との方と交流を図る。	初回は、歩ける利用者だけでも参加して少人数から地域に溶け込んで行くようにする。状態により車椅子の利用者が参加できないか検討して行く。	6 か月	平成23年2月28日新谷公民館で芸能発表会があり、初めて利用者3名が参加することが出来ました。近所の方とふれあうことが出来楽しかったようです。
4	45	毎日入浴されている利用者もおられます。入浴拒否の強い利用者がおられるので、楽しんで入れてない。	入浴が楽しいと思って入浴して頂けるように工夫する。	温泉の入浴剤、季節的な物などを入れたり、何処の温泉(入浴剤)かをのれんに書き、また個々にあった工夫をし、楽しんで入浴できるようにする。	3 か月	12月より週2回の温泉日を決めました。浴室前にのれんに何処の温泉と書きアピールしました。とても好評で、楽しんで入浴されています。
5	47	薬が大切であること、きちんと服薬することの重要性は理解しているが内容について理解に個人差がある	利用者の病名、定期的に服用している薬の注意点などを全員が把握できる。	現在、服用している薬の内容を記録ファイルに、はさみ確認しやすいようにする。受診などで、一時的に薬の処方があった際は、受診した者が確実に日勤者に伝える。または、付き添った者が記録に記入する	3 か月	介護記録の前に薬の内容をファイルすることで、往診や入院時に適切に対応し、把握できました。受診者が記録することで、正確な把握がチームで出来るように成りました。

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。